

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 12月 21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400073
法人名	医療法人一桜会
事業所名	さくらのお家
所在地	始良市蒲生町上久徳2511-2 (電話) 0995-52-8129
自己評価作成日	令和2年11月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和 2年 12月 17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

さくらのお家は、伝統的な街並みの中の、静かで過ごしやすい場所にあります。利用者お一人おひとりの生活パターンを大切にしながら過ごす中で、散歩にも出掛けています。また四季を感じて頂けるよう管理栄養士の立てた献立をもとに食事の提供、花見・節分・敬老会・クリスマス会などの行事を行っています。医療面では母体のクリニックと連携し、体調の変化や緊急時の対応も可能な体制を整えています。地域との交流にも力を入れており、火災などへの協力体制も作り上げています。地域行事への参加だけでなく事業所の行事にも参加いただいたりしていますが今年度は新型コロナウイルス流行の為中止となっています。自治会に加入し、地域の清掃活動等にも積極的に参加し、地域の一員として認知していただいています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、始良市蒲生地区中心部の閑静な住宅地の一角に、平成22年に開設しており、周辺には始良市役所蒲生支所や小・中学校、JA、医療機関、薬局、金融機関、保育所、スーパーマーケット、個人住宅等が立ち並んでいて利便性も十分である。

地域密着型事業所として、開設以来、地域との交流を大切に取り組んでおり、自治会に加入して総会の出席や校区の運動会、花見、道路の清掃など地域行事へ参加し、施設見学や中学生・高校生の体験学習、ボランティア、友人知人の面会等を積極的に受け入れている。ホームの夕涼み会や防災訓練には家族や地域住民の参加も得られ、日常的に挨拶や会話を交わすなど良好な交流が出来る関係を構築しているが、新型コロナウイルスの感染予防に配慮して、現在は園外での交流は自粛している。

管理者及び職員は、運営理念及びケアの目標を玄関やリビング、事務室に掲示して周知を図り、利用者の尊厳や人格、想いを大切にしながら、利用者に寄り添ったケアに努めている。利用者や家族の意向や要望等を、日頃のケアの中や面会、電話、手紙等で把握し、ミーティングで内容を検討して改善を図っており、家族との信頼関係が築かれている。利用者の日々の生活も心身の状態や生活習慣等に配慮し、意向に沿って趣味等の個別の支援にも取り組んで、生きがいのある暮らしとなるように努めている。

管理者及び職員は、気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、日頃の業務の中や人事考課(年2回)時の面接等から意見や要望の把握に努め、個人的な事情にも配慮しながらサービスの向上や働きやすい職場環境の整備を法人代表とも協議しながら取り組んでいる。ケアに対する助言・指導やスキルアップを図る研修の実施、資格取得へのバックアップに日頃から努めており、研修実施後にはテストで理解状況を把握して改善に繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティングや朝の申し送り時、日々のケアの中で理念に基づいたケアが実践できているかを常に話し合い、共有しながら取り組んでいる。	理念は、玄関やリビング等に掲示して周知を図り、申し送りやミーティング、カンファレンス時に振り返りや意見交換を行って意義を共有している。職員は人事考課（年2回）時の面談では、理念に沿った自分の目標を実践しているかを見極める機会も設けられている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会へ加入し、地域の清掃や運動会へ参加している。事業所の行事（夕涼み会・防災訓練等）に参加して頂いていたが新型コロナウイルスの影響で今年は中止であった	自治会に加入し地域の情報の把握に努め、総会の出席や清掃活動、運動会等へ参加し、地域の人からの介護に関する相談等にも助言している。散歩や買い物時には地域の人と会話し、野菜の差し入れ、家族・友人の面会、施設見学、ボランティア等を積極的に受け入れるなどの交流を構築しているが、現在は、新型コロナウイルスの感染予防のため外出や面会は自粛している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議を通じて、認知症についての話や介護保険についての説明を行っている。問い合わせがあればいつでも対応できる体制を作っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度会議を開催している。年2回は家族会と一緒に開催し意見交換をしていたが今年は新型コロナウイルスの関係で議事録を送付した。	会議は定期的（年6回）に開催し、利用者、家族、民生委員や行政職員等が出席して、ホームの現況や利用者の状況、防災に関する報告等を行い、委員からはケアに関する意見や地域の情報等が出されているが、新型コロナウイルス感染の予防に配慮して本年度は一堂に会するのを控えて資料の送付で意見をもらい改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市の介護課と地域包括支援センターの職員が運営推進会議の委員として会議に参加し、連携を取っている。</p>	<p>介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、ホームの運営や利用者に係る相談を電話や窓口に出向いて助言をもらうなど、日頃から協力関係を築いている。行政主催の会合や研修会にも積極的に出席して他施設職員との情報や意見の交換も行って、サービスの改善に繋げている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>個別のケースごとに話し合いながら身体拘束のないケアに取り組んでいる。法人内に身体拘束廃止委員会を設置している。</p>	<p>身体拘束の廃止については、運営規定や利用契約書に明記し、法人全体の研修やミーティング等で意見交換して認識を共有している。利用者毎にケアを振り返り、適正化を目的とした委員会も開催して拘束の無いケアに取り組んでいる。昼間は施錠しないで見守りや寄り添いに努め、不適切な言葉遣いには、その都度、注意し合う等、自由な暮らしの支援に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入職時の基礎研修で虐待について学ぶ機会が確保されている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>全体ミーティングにおいて外部から講師を呼び、権利擁護に関する研修を行った。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、又は入居前に重要事項説明書と契約書を家族に理解頂けるよう説明し同意を頂いている。改定等があった時は、改めて説明を行い同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者との日々のコミュニケーションの中で意見等言いやすい関係を深めており、ご家族とは毎月お手紙を出し、時には面談や電話など積極的に連絡を取るようにしている。	日頃のケアの中での会話や仕草、独自のサイン等で利用者の意向を理解し、家族からの意見や要望は面会や家族会、運営推進会議、電話、手紙等で把握に努めている。苦情が寄せられた際の対応は、体制と手順をフローチャートで整備している。出された要望等は全員で検討し、法人本部とも協議しながらサービスの改善を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	部署ミーティングや申し送り時に意見を出し合い必要な意見と提案を管理者が主任会等で上申している。又職員の質の向上を目指し年間目標を個々で設定している	管理者及び職員は、日頃からコミュニケーションに努め気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、業務中や申し送り、ミーティング、年2回の人事考課時の面接、必要に応じて個人面談も実施して要望等を把握し改善を図っている。スキルアップを図る研修の実施や資格取得へのバックアップに努め、勤務シフトには有給休暇や個人的事情にも配慮し、親睦を図る食事会を開催する等、働きやすい職場づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半期ごとに人事考課として責任者との面接、目標に向けての反省等、意見など確認し前向きに業務に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>専門研修の年間計画が立てられており、各自で実施している。新入職者には基礎研修、管理者には管理者研修を実施している。外部研修にも勤務の中で参加できるよう調整している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>始良伊佐GH協議会への参加やスタッフ同士の交流会を通じて情報交換をしたり、悩みを共有したり、親睦を図ったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	話しやすい雰囲気作りを心掛け、本人の話しに耳を傾け、信頼関係構築に取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とのコミュニケーションを大事にし、話しやすい雰囲気作りを心がけ、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族からだけでなく、それまで関係のあった事業所などからも情報を集め、必要な支援を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が持っている知識、経験、技術などを尊重し、それらを十分発揮してもらえるような関わりを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族、親族の行事等には本人も出来るだけ参加してもらえようような促しを行なっているが本年度は新型コロナのため参加できていない。他科受診は基本的に家族にお願いをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人の方等には新型コロナウイルス流行の為電話でお話をお願いしている。馴染みの美容室を継続して利用している。	利用者との会話や家族からの情報等で利用者毎の馴染みの人や場所を把握し、体調に配慮しながら近辺の散歩や買い物、通院、外食、地域行事の参加、一時帰宅等を家族と協力しながら取り組んでいるが、現在は新型コロナウイルス感染予防のため外出や面会は自粛して、電話やラインによる対話、写真の送付など工夫して関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性や関係を意識し、テーブルの着座位置に配慮している。食事やお茶の時間には職員が間に入り、会話を促している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院中はお見舞いに行ったりして、本人様と話しをする。退院後のことなどはご家族の相談に乗る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族からの情報や日々の生活の中から本人の思いの把握に努め、本人本位の生活ができるようにしている	利用者の思いを日頃の会話や独自のサイン等で把握し、生きがいのある利用者主体の暮らしとなるよう家族と協議しながら取り組んでいる。利用者の趣味（ぬり絵、縫い物他）や食材の下処理、洗濯物たたみ等の取り組みも、習慣や残存機能、体調等に配慮しながら個別に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話、ご家族・友人・知人の方々からの情報等で今までの生活を知り、大切にしてきたことが続けられるよう支援に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録や職員間の意見交換、関係者からの心身状態・現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的カンファレンスを行い、職員間での意見交換をし、本人・ご家族の要望を聞き主治医・看護師・職員間で話し合い、収集した情報を反映し、介護計画書を作成している	利用者や家族の意向を把握し、主治医の指示やモニタリング及びカンファレンス時の職員の意見を基に、残存機能や習慣等に配慮した利用者主体の計画を作成している。ケアの実施状況は、申し送りノートや業務日誌、個別日常生活記録等で共有しており、利用者の状態変化時には実態に即した介護計画に修正して改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケア記録に日々の様子を記録し、職員間で情報共有を大切にしている。また、ケア記録を介護計画の見直しに役立てている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員間で本人に必要な事を話し合い、事業所・ご家族で支援可能な事を一人一人実現できるよう努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居前等、行きつけの美容室利用の継続、可能な範囲での地域サロンへの参加を支援しているが、現在は新型コロナウイルスの為に地域資源の利用は限られている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が選んだかかりつけ医と連携し本人の健康管理に努めている	本人や家族が希望する医療機関での治療を支援しているが、殆どの利用者が法人母体の協力医療機関を主治医としている。主治医による訪問診療が実施され、他科受診は家族が主体的に同行している。医療連携による看護師の訪問で利用者の健康管理や感染症予防に取り組み、協力医療機関とはオンコールの医療連携も構築されて、利用者や家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員の情報は、看護職員や医療連携体制にある看護師を通じて主治医に伝えている。必要に応じて受診につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>母体のクリニックや地域の基幹病院との連携体制を構築している。入退院時は関係者、家族と情報交換を行ないながら進めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重要事項説明書の中で重度化と終末期について説明を行い、その後も随時意思確認を行いながら方針を決めている。終末期については複数の選択肢を提示し、方針の決定を支援している。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、それぞれ指針を整備しており、入所時に本人や家族に説明して同意を得ている。利用者が重度化した時点で、主治医や職員、関係者、家族は十分に話し合っており、可能な限り希望に添った支援体制を構築して看取りを実施している。看取り後は振り返りや意見交換を行ってスキルアップや不安の軽減を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人研修、避難訓練時に消防、看護師の指導の下、職員は応急手当や初期対応の実践力を身に付けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練を実施し、地域の方々の参加を促し、協力体制を築いている。</p>	<p>夜間発生も想定した火災や風水害、地震の災害訓練を年2回（うち1回は消防署立ち合い）地域住民の参加を得て実施し、避難や通報、消火器の取扱い等も研修している。環境保全委員会が主となって、点検や避難経路を確認し災害に関する意見交換も行って防災への認識を共有している。スプリンクラーや自動通報装置が設置され、災害発生時の食料、飲料水を備蓄し、防災グッズを入れた収納箱を玄関に設置して災害に備えている。台風時には住民の避難も受け入れる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格や個性をふまえた上で、それらを尊重した対応に努めており排泄や入浴などプライバシーに配慮し声掛けにも注意している。	利用者の人格や誇り、習慣等を大切に、言葉かけや対応には常に敬愛の気持で支援に努めており、法人全体の接遇研修やホームでの勉強会で認識を共有している。利用者の心身の状態や思いに配慮したケアに取り組んでおり、居室、浴室、トイレ等はプライバシーが確保された構造で利用者に係る記録等のデジタル化を検討中である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が気持ちを表明しやすい関係作りに努めており、様々な場面で自己選択を促したり、意見を聞いたり選択を委ねたりしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースにあわせ、できる事は一緒に好きなことを楽しんで過ごせる様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	馴染みの美容室を利用したり、好みの服を自分で選んでもらったりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランスを考えた献立で食事形態を工夫し無理なくゆっくりと食事が摂れるよう工夫している。	形態、栄養バランス、季節感、嗜好等に配慮したメニューを法人の管理栄養士が作成し、頂いた野菜等も活用して利用者も一緒に調理している。行事食や家族との会食、外食、弁当持参のドライブ、梅干し作りなど、食事が楽しみなものになるよう工夫しているが、ウイルス感染予防のため現在は会食や外食等は中止している。各利用者の食事や水分の摂取量を把握し、口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立に沿ったメニューを提供している。個々の摂食能力に合わせて食事形態を工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来る方には声かけし、出来ない方には毎食後介助にて口腔ケアを行なっている。夕食後は義歯を預り洗浄剤に浸けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄リズムの把握に努め、定期的なトイレ誘導やパット交換等を行なっている。	利用者の排泄パターンや習慣等を把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の状況に応じた介護用品やケアの方法を、介護計画に反映させて取り組んでおり、おむつやパットの使用量が減少するなどの改善が見られている。便秘の予防に水分の摂取や運動量等に配慮し、主治医にも相談して改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録をもとに個々の排泄パターンを把握し、水分、食事内容を配慮している。状態によっては医師の指示で下剤を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の重度化や入浴回数を均等にするため個々の入浴日を決めているが、その日の気分や体調に応じて変更するなど柔軟に対応している。	週2回の入浴を基本としているが、排泄時の汚染等には、その都度、清拭や入浴で清潔を維持している。予定外の入浴希望にも柔軟に対応し、好みの温度や時間、習慣、同性介助等に配慮してゆっくり楽しんでもらっている。個浴の為、職員との会話を楽しむ場にもなっており、入浴後は皮膚疾患の手当や水分補給を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の明るさや室温、物音など気を配り、体調や気分に応じて個別に対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のファイルを作成し、職員全員で内容を把握している。法人全体で予薬マニュアルを作成し、誤薬防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物やおしぼりをたたみ、料理の下ごしらえなど個別に対応している。レクも音楽・塗り絵・縫い物など個別支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今までは家族との外出や外泊、初詣や地域の行事など参加していたが今年は新型コロナ流行によりなにも出来ていない。	心身の状態や天候等に配慮しながら周辺を散歩し、墓参や一時帰宅、美容室での整髪、外食等を家族の協力を得ながら取り組んでいる。また、季節の花見、ドライブ、地域のイベントの見学なども計画的に実施して、利用者の楽しみとなっているが、現在は新型コロナウイルス感染予防のため、外出は控えてホーム内でのレクリエーションを工夫して気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在2名現金所持しているが使用の希望や機会が無い</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話はいつでも出来る様支援しており、タブレットを使用したビデオ通話も活用している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレには分かりやすいように札を下げている。共有空間は空調管理し物音や光にも配慮している。壁面を毎月季節を感じる飾り付けを行っている</p>	<p>廊下や玄関、リビング等の共有スペースは、明るく開放感に満ちて随所に活花や利用者の作品（干支のタペストリー等）、絵画等が飾られ、台所からは調理の音や匂いが伝わるなど、和やかで家庭的な雰囲気である。リビングにはテーブルセットやテレビ、ソファ等が利用者の動線等に配慮して設置され、清掃や整頓、空調、衛生管理等も徹底しており、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穏に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者の相性に応じてテーブル席の配置やソファの着座位置を工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時は使い慣れた物や思い出の品などを持参頂き、心地よく過ごせる様にしている。</p>	<p>居室はすべてフローリングにリフォームされており、腰高窓で明るく余裕のある広さで、エアコン、クローゼットが備えられ、利用者の状況を考慮しながら配置している。利用者の意向を確認しながら清掃等を支援し、利用者は愛着のあるぬいぐるみや小物、家族写真、使い慣れた寝具、テレビ等を持ち込み、また、自分の作品等も飾って居心地の良い部屋となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自分の部屋が分かるように名前入りの貼紙をしたり、トイレの場所が分かる様に表示している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない